

リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立西新井小学校

【取組内容①】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実

・ノート代わりに思考ツールとして活用したり、意見を共有したり、共同編集したりしている。

・1年生活科「かぞくにここに大きくせん」～家庭で撮影した動画の紹介
 家庭でのお手伝いの様子を撮影し、Googleドライブから再生して紹介し合った。
 友達の動画を見ることで、自分もやってみたいという思いをもたせることができた。
 保護者の関心を向上させ学習効果を高めることにつながった。

- ・児童へのアンケートはGoogleフォームで集計。
- ・保護者へのアンケートは保護者向け情報発信ツールで実施。



・5年体育科「選んでトライ！ビューティフルボックス！」～跳び箱運動におけるICTの活用
 デジタルホワイトボードソフトで手本動画や自分の試技動画を共有し、Googleスライドで作成した
 学習カードを用いた。授業前など、授業時間以外でも確認したり、アドバイスし合ったりすることが
 できた。タイムシフトカメラを大型テレビにつなげ、自分の試技をすぐに確認することができた。



授業形態の見直しへ！！6年生社会科を例に・・・

- 導入： 学習課題を提示し、その解決のためにどうしたらよいか確認する。
 展開： 児童は自分が選んだ方法で学習を行い、ジャムボードにまとめる。
 スプレッドシートで児童が進捗状況を報告し、学習進度を把握できるようにする。
 まとめ： 児童同士、調べて分かったことや考えを交流する。

